



Pandora FMS 5.1 SP4

リリースノート

新機能

- API および CLI の新機能: 統合モジュール作成、計画停止管理、ネットワーク・データサーバ・プラグインモジュールの警告・障害閾値の反転管理
- アラートテンプレートに新たなモジュールを追加するために、エージェントの XML ファイルに新たな 'alert_template' タグを追加しました。
- サーバプラグイン編集のための新たな一括操作を追加しました。
- 可用性レポートに“稼働時間(working time)”を追加しました。
- セカンダリサーバオプションをサテライトサーバに追加しました。
- エージェントプラグインに、`module_timeout` を追加しました。
- Windows エージェントで、UDP サーバに複数のアクセス元 IP を設定できるようにしました。
- モジュールの条件定義(precondition)に、POSIX の拡張正規表現を使えるようにしました。

以前のバージョンからの変更点

- 二値(Boolean)モジュールのグラフは、アナログではなくデジタル表示されるようになりました。
- サテライト SNMP proc モジュールが、Pandora FMS サーバの proc モジュールのように動作するようになりました。
- 可用性レポートは、結果を小数点以下 2 桁に丸め込みます。
- エージェントの設定ファイルから、`config_file_encoding` を削除しました。UTF-8 を想定します。



- データサーバにおいて、エージェントごとに XML のキューを適用する前にソートするようになりました。
- サテライトサーバは、一つの接続で複数のファイルを送信するようになりました(大きなパフォーマンス改善)。

修正点

- PDF レポートのタイトルと説明を修正しました。
- ビジュアルコンソールでいくつかの修正をしました。
- ポリシー作成におけるパーミッションの問題を修正しました。
- IE8 および IE9 での互換性を修正しました。
- SLA レポートのマイナーな不具合修正をしました。
- メタコンソールでの期限切れパスワードの変更を修正しました。
- グループおよびモジュールの一括操作の問題を修正しました。
- メタコンソールで、サーバのユーザ削除を修正しました。
- 一つ以上のサーバで同期をしているときにエラーになる問題を修正しました。
- いくつかの画面で PHP warning が大量に出る問題を修正しました。
- モジュールにデータがない場合の表示を修正しました。
- エージェント管理での再帰処理の問題を修正しました。
- グループで ACL の伝播を有効にしている場合に、エージェントのカウントが正しくない問題を修正しました。
- プラグイン/データ/ネットワークモジュールの API で説明を空にできる問題を修正しました。
- カスタムレポート作成時に、アクセス可能なグループを制限されたユーザが空のグループを選択できてしまう問題を修正しました。
- アクセス権の無いグループが表示されてしまう問題を修正しました。
- メタコンソールにおけるグループ名を修正しました。
- CLI/API での計画停止操作の問題を修正しました。
- イベントのコメント表示における問題を修正しました。
- IPAM 拡張でページ分割の問題を修正しました。
- インベントリデータが無い状態でエージェントのインベントリを表示すると SQL エラーが発生する問題を修正しました。
- ネットワークマップでモジュールグループのフィルタでエラーが発生する問題を修正しました。
- ユーザウィジェットから作られたマップがあるとダッシュボードでエラーとなる問題を修正しました。
- GIS マップでの JavaScript の問題を修正しました。
- ActiveDirectory で認証したユーザがログインした場合に自動同期するようにしました。
- Windows システムにおける Pandora FMS サーバの改善をしました。
- メタコンソールのツリー表示でのエージェントカウントの問題を修正しました。
- 監視レポートアイテムを利用しているレポートでの問題を修正しました。
- メタコンソールのウィザードを通してのモジュール作成の問題を修正しました。



- ポリシーの複製を修正しました。
- Windows の計画実行で SYSTEM ユーザを利用するようにしました。
- モジュール更新時にポリシーからモジュールが外れる問題を修正しました。
- 計画停止の問題を修正しました。
- インベントリモジュールの入力と DB の間で差異を防ぐようにしました。
- メタコンソールでのイベントの承諾の問題を修正しました。
- サテライトサーバで、スキャンが完了するまではブラックリストを上書きしないようにしました。
- エージェントの UDP サーバでいくつかの修正をしました。
- その他、軽微な修正をしました。

アップデート方法

既存のシステムのバックアップ

アップデートの前に、既存の Pandora FMS システムをバックアップします。

ファイルやデータをアップデート前の状態に戻せるように、外部バックアップ、ファイルシステムのスナップショットなどを利用します。

Pandora FMS のバックアップに関する詳細は、オンラインドキュメントの [バックアップ手順](#) を参照してください。

アップデート手順

ここでは、Pandora FMS アプライアンス 5.1 SP3 を 5.1 SP4 へアップデートする手順を説明します。それには、Pandora FMS サーバを停止します。30 秒ほどです。

注意: アップデートには管理者権限のユーザアカウントが必要です。

1. RPM 形式の "[Pandora FMS サーバ](#)" をダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
2. RPM 形式の "[Pandora FMS コンソール](#)" をダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
3. RPM 形式の "[Pandora FMS エージェント](#)" をダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
4. RPM 形式の "[Pandora FMS Enterprise コンソール](#)" を Enterprise 版ユーザサポートサイトからダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
5. お使いのアーキテクチャに合った tar.gz 形式の "[Pandora FMS Enterprise サーバ](#)" を Enterprise 版ユーザサポートサイトからダウンロードし、Pandora FMS サーバへ転送します。
6. Pandora FMS サービスを停止します。 `:/etc/init.d/pandora_server stop`



7. オープンソース版のサーバおよび Enterprise 版コンソールを置いたフォルダで以下を実行します。:
 - a. `cp -p /etc/pandora/pandora_server.conf /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp`
 - b. `rpm -U --force pandorafms_server-5.1SP4-1.noarch.rpm`
 - c. `rpm -U --force pandorafms_console_enterprise-5.1SP4-1.noarch.rpm`
 - d. `rpm -U --force pandorafms_console-5.1SP4-1.noarch.rpm`
 - e. `rpm -U --force pandorafms_agent_unix-5.1SP4-1.noarch.rpm`
8. Enterprise 版のサーバを置いたフォルダで以下を実行します。:
 - a. `tar -xvf pandorafms_server_enterprise_6.0_151126_<architecture>.tar.gz`
 - b. `cd pandora_server`
 - c. `./pandora_server_installer --install`
 - d. `mv -f /etc/pandora/pandora_server.conf.bkp /etc/pandora/pandora_server.conf`
9. Pandora FMS サービスを開始します。:`/etc/init.d/pandora_server start`
10. エージェントサービスを再起動します。:`/etc/init.d/pandora_agent_daemon restart`

日本国内向けのお問い合わせ先:



株式会社アールワークス

〒170-6016 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 16F



03-5911-2606 (平日 10:00~18:00)



<http://ms.rworks.jp>

rw-sales@rworks.jp